

思えば、中村先生と初めて知り合ったのは、私が小学校の六年生の頃だったと思います。それは、恩師「松村栄一先生」のそろばん教室で、中村先生が私に話しかけてくださった事が、そのきっかけでした。先生はその時「静商の三年生」でした。それ以来、先生とお話しする度に、私も静商に入学して珠算部に入りたいな、と思う憧れの意識が段々と深まって行つたような感じが致しました。

中村先生は、終戦後の昭和二十一年九月に珠算塾を開設、以来今日まで六十五年と三カ月の長きにわたって、この道一筋、珠算指導に専念して参りました。

先生の指導力は抜群で、県下の珠算競技大会はもとより、全国珠算競技大会でも大活躍した優秀な生徒が数多く輩出し、その成果は全く他の追隨を許さない程のものでした。

中村先生の珠算界における貢献度を語れば、先生は温厚にして実行力に富み、その手腕は各方面から認められて定評があり、多大の信頼が寄せられておりました。

その為、先生は年若くして静岡県珠算協会の検定部長を初めとして、あらゆる部門の役職を受け持ち、その中心人物として珠算教育振興のために大いに尽力されて参りました。

特筆すべきは、昭和五十二年七月からの三年間、静岡県珠算協会会長、並びに全国珠算教育連盟静岡支部長に満場一致で推挙され、その重責を發展のにまっとうされた事でした。

就任以来、先生はその大前提として「対話」と「協調」と言うスローガンを掲げて、各先生方ともに和やかに、しかも積極的な意見交換に努めて、支部運営に当たって参りました。

私はその時、総務部長に抜擢されましたが、全くの力不足で役に立たず、反って先生の足でまといになった自分を恥じるばかりでありました。

在任中、先生は、アイディアマンで実行力に富み、画期的な事業を数多く成し遂げて参りました。その主たるものは、昭和五十三年八月、「静珠協創立三十五周年」並びに「全珠連静岡支部設立二十五周年」の記念式典であり、多数の来賓各位と一三〇余名の会員のご参加を得て、盛大に挙行されたことでした。また、山梨県と親睦珠算競技大会の復活、愛知・長野・山梨として静岡の四県交流親睦会の開催、中華民国との国際親善小学生珠算競技大会、更には、珠算指導者講習会と親睦会をセットにしての一泊研修会があり、多数の参加者を得て、好評を博したものでありました。

また、中村先生には、良知圭一郎先生と云う強力なパートナーが付いており、良知先生との合作で実施したものに「教場施設見学会」と「一泊放談会」、「健康増進ハイキング」等、まことに画期的なものもありました。

検定事業では、第一五〇回記念の全珠連検定において、その受検者数は飛躍的に増加し、毎回、全国でも優位の成績を収め、中村先生を称えるが如く錦上添花を添える事もありました。

先生のご活躍は、静岡県内に止まらず、その後、全珠連本部理事に推挙され、連盟事業の主要な役員としてご尽力下さいましたことは周知の事実であり、ただただ感謝申し上げる次第であります。

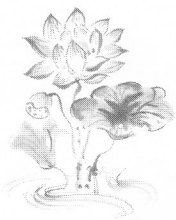
巨星墜つ！正に、珠算界に取っては大きな柱を失いました。特に、私は中村先生の後ろ姿を見て追隨してただけに、本当に大きな道標を失った感じで、悲しみの極みであります。

これからも、先生の遺徳を偲んで、頑張つてこの道に邁進する事をお誓いして、お別れの言葉といたします。先生、どうか安らかに眠りください。

中村先生！本当に有り難う御座いました。

平成二十四年二月九日

朝比奈 博



総務・厚生たより

◎お悔やみ申し上げます

三石テル子 先生（北遠地区）実母様
中村忠平 先生（静岡地区）ご本人様

四月・五月行事予定

◎四月一日(日)

第六回 正副支部長会

第六回 執行部長会

第三回 常任委員会

第三回 理事会

◎四月八日(日)

公益法人移行委員会

◎四月十五日(日)

(静) 下期通常総会

(全) 臨時総会

◎四月二十八日(土)

第三四八回 暗算一〜八級検定

静珠協珠算検定

◎五月十二日(土)

平成二十三年度 珠算指導者講習会

◎五月十三日(日)

公益法人移行委員会

◎五月二十七日(日)

第三四九回 全珠連珠算検定

暗算段位検定